

地震・津波・噴火…、 社員の安否確認 家族の安否確認 なら

緊急地震速報連動
安否確認システム



無事かな…

心配だ…

妻は 娘は…

安否確認システム運営10年を迎えました



会社HP : <http://www.rabbix.jp/>

e安否HP : <https://e-anpi.jp/>

〒960-8031 福島県福島市栄町 7-31 KYB ビル 3F

TEL : 024-563-7851 担当 : 藤岡・松浦

社員の安否を確認し、すばやく事業復旧する

安否確認システムe安否は、災害発生と同時に社員の安否や参集状況を把握し、事業復旧に向けすばやく行動するためのシステムです。

気象庁の緊急地震速報と連動し、地震・津波・噴火発生と同時に社員へメールを送ります。

企業は人員のリソースを把握し、適切に配置・指示することで企業を存続させる必要があります。

社員は家族の無事を確認し、安心して事業復旧を行える環境があります。

安否確認システムはBCP(事業継続計画)の初動対応を担います。

e安否は東日本大震災でも停止することなく、稼働した実績があります。



スマートフォン・携帯電話・パソコン

「誰でも・いつでも・どこからでも」を実現するため、e安否はパソコンだけでなく、スマートフォン(iPhone/Android)・携帯電話(ガラケー)、タブレットでも使えます。

地震が起こった時、身近にあるデバイスですぐさま回答が行えます。

最新デバイスから過去のデバイスまで幅広くサポートします。

※Docomo/au/Softbankの2012年以降の機種を対象とします。



3つの特長



緊急地震速報

気象庁の緊急地震速報が発報されると同時に安否メールを一斉配信します。混線の影響を受ける前に社員へ安否メールが届きます。



GPS位置情報

スマートフォン・携帯電話のGPS機能を利用し、安否状況と合わせて報告できます。位置把握できることでより詳細な指示を与えられます。



運営10年の実績

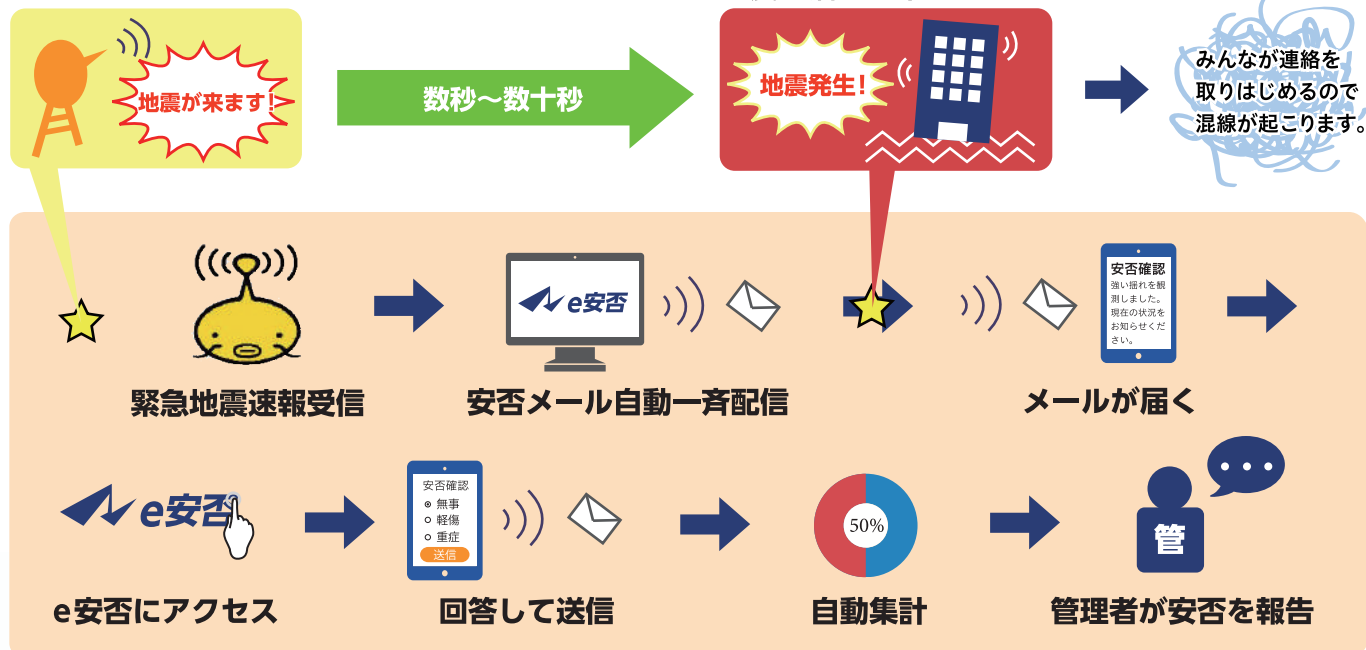
株式会社ラビックスは安否確認システムを運営し続け、10年目となりました。業界トップクラスの運営経験を誇ります。

安否確認の流れ

e安否は揺れが来る前にメールを自動送信するので
混線の心配がありません。メールを迅速に届けます。

気象庁からの緊急地震速報

地震の揺れが来る



安否確認フローチャート

3つの連絡方法

安否メール=安否確認



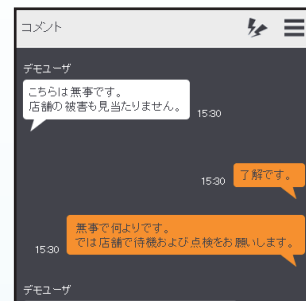
社員へ一斉メールを配信します。

掲示板=情報共有



社員全員で被害状況を把握します。

チャット=個別指示



社員へ個別に指示、行動します。
※現在開発中です。

社員の安否を確認し、事業復旧に向けて被害状況を全員で共有。個別に指示を出し、初動対応を行います。

回答

社員は届いたメールに記載されているURLを押します。
e安否の回答画面へアクセスし、現況をいくつかの選択肢から選択すれば報告が完了します。
[管理者] 安否状況や店舗被害、出欠確認等自由に選択肢を設定可能。

代理回答

社員に代わり、管理者が代理で回答を行えます。
不慮の事態でも管理者側で社員の安否状況を登録できます。

予約配信

避難訓練や定時訓練など、あらかじめ配信したい日時が
決まっている場合は、予約配信を行えます。
時間になると社員へ一斉配信します。

家族メール

社員が家族へ向けて安否メールを送ることができます。
やり取りは一切企業とは関係なく、家族間の連絡網として
利用できます。

かんたん社員登録

■ QRコードで

社員の個人情報を集めたくない場合に。
社員登録専用のQRコードを発行できます。
社員はQRコードを読み取り、新規登録。

株式会社マニアル >
制作部



■ Excelで

管理者で一元管理を行いたい場合に。
Excelで社員名簿を作成するだけで、管理者により
社員を一括登録できます。



社員の管理

■ 組織図

管理者は組織図より社員を管理します。
また、回答も組織図で把握することができます。

■ グループ

特定の社員をまとめ、宛先にできます。
例えば災害担当者、指揮班、救護班など。

■ サブメールアドレス

社員は1つの連絡先だけでなく、複数個メールアドレスを登録できます。
また、家族のメールアドレスを登録することで、家族メールの宛先になります。



安心のサーバー・セキュリティ

■ 北海道石狩にある堅牢なデータセンター

震度6以上の地震が起こりにくい地に加え、無停電装置・24時間監視・火災検知システムなど最先端のファシリティを備えているデータセンターを利用しています。



■ 世界で一番利用されている SSL 暗号化

e安否でやり取りされる情報はすべて暗号化されており、安心して利用できます。悪意ある第三者への個人情報漏洩を防ぐ、もっとも信頼できるセキュリティです。



何を基準に選べばいいの？

～こういったご相談よくあります～

Q. 機能はなにを基準にするの？

A. 緊急地震速報と連動しているか、を基準にしてください。地震が起こると誰もが電話で家族や仲間の安否を確認します。そのため混線が起き、メールが届きにくくなります。緊急地震速報と連動させると地震の発生と同時に安否メールが届きます。より初動対応が早くなります。

Q. 料金は安いほうがいいの？

A. 安いに越したことはありませんが、安いシステムは安く提供できる理由があります。
例えば緊急地震速報と連動できるシステムを導入しようと考えている場合、気象庁からの受信料が発生するため、安いシステムでは使えないことがあります。
1に機能、2に料金でシステムを選んでください。

Q. サポートはあったほうがいいの？

A. システム運用開始時が一番労力を必要とします。
社員登録・各種設定構築など、どんなことでもサポートしてくれる環境があると、災害担当者の心労は少なくなるでしょう。運用開始時、厚くサポートしてくれるシステムを選んでください。